

住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）		東京都港区赤坂九丁目7番1号ミッドタウン・タワー								
氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）		コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社 代表取締役社長 カリン・ドラガン								
事業概要		製造業 飲料・たばこ・飼料製造業								
該当する事業者要件		熊本県地球温暖化の防止に関する条例施行規則第5条第1号該当特定事業者（大規模エネルギー使用事業者）								
		熊本県地球温暖化の防止に関する条例施行規則第5条第2号該当特定事業者（自動車運送事業者）								
		特定事業者以外の事業者								
計画期間		2021 年度 ～ 2025 年度								
事業活動温暖化対策計画書に定めた措置の実施状況		<ul style="list-style-type: none"> ・冷暖房設定温度の徹底管理 ・省エネ機器の活用（インバーター、省エネポンプ） ・省エネ省水プロジェクトによる改善 ・スチームトラップの定期的点検修理 ・エア漏れ調査、修理の実施 								
温室効果ガスの排出の状況等	年度区分	基準年度 (2020)年度	前年度 ()年度	計画期間					目標年度 (2025)年度	
	①排出量 t-CO2	6,329		2021)年度	2022)年度	()年度	()年度	()年度	6,013	
	増減率 (基準年度比)			△ 3.6 %	△ 17.1 %	%	%	%	△ 5.0 %	
	補完的 手段による 削減量	森林の整備及び保全 (t-CO2)								
		再生可能エネルギーを利用した電力又は熱の供給 (t-CO2)								
		グリーン電力証書又はグリーン熱証書の購入 (t-CO2)								
		その他知事が認めるもの (t-CO2)								
		②合計(t-CO2)								
		① - ② 差引後排出量 (t-CO2)			6,104	5,248				
		差引後増減率 (基準年度比)			△ 3.6 %	△ 17.1 %	%	%	%	
	原単位算定排出量等	排出量 t-CO2	0.037		0.035	0.032				0.035
		増減率 (基準年度比)			△ 5.4 %	△ 13.5 %	%	%	%	△ 5.4 %
	差引後排出量 (t-CO2)			0.035	0.032					
	差引後増減率 (基準年度比)			△ 5.4 %	△ 13.5 %	%	%	%		
	原単位の考え方	生産液量 1KL当たりのCO2排出量								
計画の進捗又は達成の状況等		生産効率の改善等の省エネ活動により、昨年と比較しCO2排出量を削減出来ている。								
特記事項		2019年度に製造ラインを増設し、温室効果ガスの排出量が増加しているが、省エネ機器の導入等により原単位当たりの排出量は減少している。								

- 備考 1 □のある欄には、該当する□内に「レ印」を記入してください。
- 2 「計画期間」並びに「基準年度」「前年度」「目標年度」及びそれらの排出量は、提出済の事業活動温暖化対策計画書に一致させてください。
- 3 「計画の進捗又は達成の状況等」欄には、計画期間における排出量削減の進捗の状況及び計画終了時における事業活動温暖化対策計画書に掲げた温室効果ガスの排出の抑制の量に係る目標の達成又は未達成の理由等があれば、記入してください。
- 4 「特記事項」欄には、過去の温室効果ガス排出削減に係る実績や地球温暖化防止に寄与する技術又は商品の開発等の取組があれば、記入してください。